

青森県立野辺地高等学校

住所 上北郡野辺地町松の木

生徒数 男子二九一名 女子四七九名

部員数 男子十二名 女子六名

顧問 高山 智

コーチ 三橋 清・岡 一仁

本校の歴史

本校が創立されたのは、大正十五年四月。第一中学校（現弘前高校）・第二中学校（現・八戸高校）・第三中学校（現・青森高校）に次いで、旧制野辺地中学校として発足しました。戦後の学制改革により、昭和二十三年四月、野辺地高等女学校を併せ、県立野辺地高等学校となり、現在に至っております。創立以来六十七年、「質実剛健・自治協同・能率増進」の三綱領のもと数多くの英才を各界に送り出して来ました。スポーツでも、旧制中学校時代に柔道部が二度にわたり全国制覇を為し遂げ、新制高校となつてからも、ボクシング・フェンシング・剣道・ハンドボールの県大会・東北大会での活躍、さらにスキー部のインターハイ優勝とめざましいものがあります。

空手道部の沿革と記録

☆創立

創立の年月日ははっきりしませんが、昭和五十年四月、本校に赴任した阿部忠教諭（先生は本校を卒業し、弘前大学在学中、空手道部にあつて東北インカレなどに活躍した豪傑です）が指導し、

最初は必修クラブから出発して、同好会・部と昇格していったと聞こえています。

☆初代顧問 阿部忠（昭和五〇・四・一〜五九・三・三一）

先生の大学の後輩・三橋清氏をコーチに依頼する。

昭和五十五年

春季大会 団体組手 準優勝

高校総体 個人組手 第2位 半崎靖男

全国高校空手道選手権大会（於・横浜）

個人組手 半崎選手 三回戦に進出

半崎1：2内田（京都市）

半崎選手は大正大学に進み、現在、日本空手協会指導員

大正大学空手道部コーチとして活躍中。

内田選手は全日本チャンピオン、世界大会で活躍し、現在

内田塾を主宰。

昭和五十六年

高校総体 個人組手 第3位 石田 彰

東北高校空手道選手権大会 個人組手 第3位 石田 彰

新人戦 団体組手 優勝

昭和五十七年

高校総体 団体組手 準優勝

個人組手 第3位 蛭沢勝昭・蛭沢勝彦

新人戦 団体組手 第3位

昭和五十八年

春季大会 団体組手 第3位

高校総体 団体組手 第3位

☆二代顧問 工藤豊(昭和五九・四・一〜六一・三・三一)

阿部忠先生、八戸西高校に転任。

昭和五十九年

新人戦 団体組手 第3位

昭和六十年

春季大会 個人組手 優勝

高校総体 個人組手 第2位

新人戦 個人形 第3位

新人戦 個人形 優勝

中村 聡

中村 聡

前田法昭

前田法昭

個人組手第三位 江刺家務

☆三代顧問 高淵和利

(昭和六一・四・一〜平

成三・三・三一)

昭和六十一年

春季大会 個人形

優勝 前田法昭

高校総体 個人形

優勝 前田法昭

新人戦 団体組手

準優勝

前田選手は「高体連

優勝選手賞」を受賞

昭和六十二年

春季大会 団体組手 第3位

個人形 第3位 金ヶ崎一美

高校総体 団体組手 優勝

個人組手 優勝 松館鉄也

個人形 第2位 金ヶ崎一美

新人戦 団体形 優勝

個人形 優勝 金ヶ崎一美 第3位 上野泰

昭和六十三年

春季大会 団体組手 準優勝

高校総体 団体組手 第3位

個人形 第3位 上野泰

新人戦 団体形 準優勝 個人形 第2位 上野泰

東北選抜大会 団体形 第2位

平成元年

春季大会 個人形 第3位 上野泰

新人戦 団体形 優勝

東北選抜大会 団体形 第三位

平成二年 岡一仁講師、通信制に赴任、コーチに依頼する。

☆四代顧問 高山 智(平成三・四・一〜

平成四年

春季大会 個人形 第3位 木村俊一

高校総体 個人形 第2位 木村俊一

個人組手 第3位 木村俊一